

令和 8 年度 事業計画

社会福祉法人しらゆり会

設立認可 : 平成 17 年 2 月 25 日

所在地 : 豊中市中桜塚 2 丁目 9 番 24 号

代表者 : 理事長 安家比呂志

法 人 概 要

【法人の沿革】

平成 17 年 2 月	「社会福祉法人しらゆり会」創設	理事長 吉田純彦
平成 17 年 4 月	「さくらづか保育園」開園（定員 70 名）	園長 豊島朱美
平成 19 年 4 月	「のばたけ保育園」開園（定員 140 名）	園長 吉田純彦
	「さくらづか保育園」施設長変更	園長 土井文子
平成 23 年 4 月	「さくらづか保育園」定員 90 名に変更	
	「のばたけ保育園」定員 160 名に変更	
平成 25 年 4 月	「さくらづか保育園」施設長変更	園長 村上美香
平成 27 年 9 月	「のばたけマミー保育園」開園（定員 20 名）	園長 奥瀬佳代子
平成 29 年 6 月	「社会福祉法人しらゆり会」代表者変更	理事長 浅尾利機
平成 30 年 4 月	「さくらづか保育園」定員 120 名に変更	
平成 30 年 7 月	「社会福祉法人しらゆり会」代表者変更	理事長 武内慎吾
令和 3 年 4 月	「さくらづか保育園」「のばたけ保育園」を幼保連携型認定こども園へ認可変更	
令和 5 年 4 月	「のばたけマミー保育園」施設長変更	園長 長橋佳子
令和 7 年 6 月	「社会福祉法人しらゆり会」代表者変更	理事長 安家比呂志

【保育の方針】

保育理念：「こどもはみんな宝物」

「こども達の最善の利益の尊重」

「こども達の育ちを支え、保護者の子育てを支える」

保育目標：「心身ともに健やかで、仲間を大切にする生き生きとしたこどもの育成」

- しなやかな身体と心を育む
- 仲間の中で自己主張でき、自分のことだけでなく相手のことも考え、認め合い、豊かな関わりを持つこどもを育てる
- 自分は大切な存在であると、自信をもって行動するこどもを育てる
- 自分で考え行動し、達成感・満足感を持てるこどもを育てる

職員心得

- 私たちはこども第一で仕事をします
- 保育士・保育教諭は、こどもの模範である事を常に自覚し、常識と良識に基づいて行動します
- 職務上知りえた個人情報の秘密を守ります
- 保育士・保育教諭として、常にその専門性の向上に努めます
- 保護者との信頼関係の構築に努めます
- 常に自己の責任の下に行動し、報告・連絡・相談を怠りません
- 他の職員との間で、お互いに良好な関係を保つ努力をします

【施設の概要】

認定こども園 さくらづか保育園 園長：村上 美香

所在地：〒561-0881 豊中市中桜塚2丁目9番24号

連絡先：TEL/06-6843-5868 FAX/06-6858-8088

E-mail/sakura5868@sakuraduka.ed.jp

幼保連携型認定こども園 のばたけ保育園 園長：吉田 純彦

所在地：〒560-0053 豊中市向丘3丁目2番1号

連絡先：TEL/06-6848-4560 FAX/06-6848-4426

E-mail/nobatake1@road.ocn.ne.jp

のばたけマミー保育園 園長：長橋 佳子

所在地：〒560-0002 豊中市緑丘4丁目35番19号

連絡先：TEL/06-6853-3533 FAX/06-6151-5455

E-mail/nobatake.mami@clock.ocn.ne.jp



法 人 計 画

令和7年度より安家比呂志理事長を迎え入れ、ほぼ元来の法人役員体制に戻して運営を行っている。

さくらづか保育園は、園庭の改造工事や駐車場の土地購入・造成工事で大きな資金が動いたので、積立資産がゼロからのスタートとなる。南海トラフ地震を想定した防災準備や障がい児の受け入れ工事など必要なことは行っていくが、積立を意識した経営も必要となる。

のばたけ保育園は、新事務長に吉田雄亮先生が就任する。会計や理事会資料の作成など今まで携わっていなかった分野の仕事も増えるので、密に連携をとって負担が増えすぎないようにしていきたい。また、定期借地権の満了期となるので、新しい契約更新について豊中市としっかりと打合せを行っていく。

のばたけマミー保育園は、これまでの広報活動や地道な口コミ活動が実を結び、0歳児も含めて弾力化定員すべて埋まった状態で保育をスタートできる。今後ものばたけ保育園への優先的受け入れが整う見込みなので、地域に愛され続ける園として根付いていけるように取り組んでいく。

地域貢献に関しては、引き続き地域住民や自治会と連携して、防災についてより密接な関係性を築いていき、災害時には地域の小さなお子さんの受け入れに特化した避難所を設営できるよう準備していく。また、自治会行事の参加も増えてきているので、出来る限り地域と施設の密着した関係性を築いていくほか、「大阪しあわせネットワーク事業」を活用して地域の生活困窮者の情報を拾い出し、相談支援・経済的援助を行っていく。

各施設計画

【認定こども園 さくらづか保育園】

利用定員：

区分	3号認定			上段：2号認定 下段：1号認定			合計
年齢	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	
定員	9名	20名	22名	23名 2名	23名 2名	23名 2名	120名 6名
弾力化実員 (4/1 予定)	15名	24名	24名	26名 1名	26名 2名	26名 2名	141名 5名

職員数：

種別	園長	主幹保育教諭	保育教諭	助保育教諭	看護師	栄養士	調理員	用務員	事務員
常勤	1名	2名	23名	—	—	1名	1名	—	—
非常勤	—	—	17名	3名	2名	—	2名	1名	2名
合計	1名	2名	40名	3名	2名	1名	3名	1名	2名

学校医：

種別	内科医	歯科医	眼科医	耳鼻咽喉科医	薬剤師	合計
嘱託	1名	1名	1名	1名	1名	5名

第三者委員：岡本清治、松 公造

本年度重点的に取り組む目標・計画

- 子ども一人ひとりが主体的に遊びを生み出し、夢中になって取り組めるよう、保育者の関わりを大切にした人的環境づくりに取り組む。
- 自家製醤油作りや米作りを通して、食材が食卓に届くまでの過程を体験し、食への関心を育てる。
- 園内で公開保育を実施し、保育の中で気づきや学びを職員同士で共有しながら、保育の質の向上に努める。
- 子ども・保護者・職員それぞれの気持ちや、その奥にある思い（ニーズ）に気づくことを大切にし、保育園に関わるすべての人を尊重する心を育む。
- 職員が心身ともに健康で、前向きに保育に向き合えるよう、腰痛ケアやメンタルケアを取り入れ、働きやすい環境づくりを進める。

目標・計画の具体的な項目と取り組み方法

項目	取組方法
保育内容	● 子どもの思いや興味を丁寧に受け止め、子ども自身が考え、試し、遊びを深めていけるように援助する。また、失敗や思考錯誤を認め、安心して挑戦できる関係づくりを通して、主体的な遊びを支える。 ● 子どもと一緒に自家製醤油作りを行ったり、米作りに携わり、育てる・作る・食べる経験を通して食への関心や大切さを感じられるよう食育に努める。将来的には菜園で育てた大豆から自家製醤油を作る。 ● 園内で公開保育を実施し、職員同士で思いや課題を語り合うことで学びを深め、保育の実践に活かす。 ● 子ども・保護者・職員それぞれの気持ちの奥にあるニーズを大切にする関わりについて職員同士で学び合い、人権を尊重した保育に努める。
職員処遇	● 腰痛ケアとして月に1回15分間程度、マッサージ専門の方によるケアを受けられる時間を設け、職員の身体的負担の軽減を図る。 ● 仕事上の相談だけでなく、職員が心身ともに健康に保育に向き合えるよう日頃から話を聞く機会を大切にするとともに、必要に応じてメンタルケアの専門の方に相談できる機会を設け、園全体で一人ひとりの職員をケアしていく。 ● 職員同士が交流し、リフレッシュできるような福利厚生を企画し、働きやすい職場環境づくりに努める。
地域貢献	● スマイルサポーターを3名配置。地域の方の相談窓口として努めていく。 ● 園庭開放、0歳・1歳児親子対象の【さくらっこサークル】・一時保育の内容を充実させ、地域の親子支援に努める。 ● 赤ちゃんの駅（園庭解放・オムツ交換、授乳室の提供） ● 保育実習生・ボランティアの積極的な受け入れ。 ● AEDの設置及び掲示 ● 地域の自治会の会議や地域福祉ネットワーク会議に積極的に参加し、常に地域に貢献できることを探りながら取り組んでいく。 ● 地域の高齢者の会【まほろば会】の行事に参加し、世代間交流を行う。

その他特記事項（施設整備関係）

- 電気自動車購入（災害用）
- 防災アプリの導入
- 障がい児受け入れ工事（リラックスルーム）

【幼保連携型認定こども園 のばたけ保育園】

利用定員：

区分	3号認定			上段：2号認定 下段：1号認定			合計
年齢	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	
定員	15名	25名	30名	30名 3名	30名 3名	30名 3名	160名 9名
弾力化実員 (4/1 予定)	14名	24名	29名	46名 4名	30名 4名	30名 1名	173名 9名

職員数：

種別	園長	副園長	主幹保育教諭	保育教諭	看護師	調理員	用務・警備員	事務員
常勤	1名	1名	2名	35名	1名	4名	—	1名
非常勤	—	—	—	7名	—	4名	2名	—
合計	1名	1名	2名	42名	1名	8名	2名	1名

学校医：

種別	内科医	歯科医	眼科医	耳鼻咽喉科医	薬剤師	合計
嘱託	1名	1名	1名	1名	1名	5名

第三者委員：安芸雅美、平川郁子

本年度重点的に取り組む目標・計画

- 子どもが主体的に行動できる保育計画や環境づくりに努める。
- 人権保育を養うためにインクルーシブ保育を継続し、配慮の必要な子どもがいる中で子どもたち自身が自分たちの力で考え行動できる力や、自己肯定感を育む保育を実践する。
- 新人教育や中堅職員の教育に力を入れ、主幹・副主幹の園内研修を増やしリーダーとしての姿勢やチーム保育で学ぶ機会を増やし保育の質を高めていく。

目標・計画の具体的な項目と取り組み方法

項目	取組方法
保育内容	● 子どもの主体性を育む取り組みとして、ふれあいグループ（異年齢交流）で関わる機会や時間を積極的に増やし、思いやりや協調性を育めるようにする。 ● 昨年より取り組んできた公開保育を引き続き継続し、自身の保育の振り返りや環境の見直しなど保育の質の向上を図る。 ● 障害の有無や発達の違いにかかわらず、子ども一人ひとりが安心して活動に取り組める環境を整え、子ども同士が育ちあうインクルーシブ保育を目指し、発達の特性について知識や理解を深める努力をする。 ● 0～5歳児全園児対象に講師によるリズムリトミックを実施し、自然にリズム感や豊かな情緒や表現力が育む基礎を築けるようにする。 ● 少人数のグループ保育を取り入れ、子どもの個々の成長に合わせた丁寧な保育を実践していく。
職員処遇	● 初めてのリーダー職員へは、主幹・副主幹による基礎的なリーダーとしての知識や姿勢を研修で伝えていく。 ● 新人教育として基本的な社会人としてのマナーや知識を園内研修で伝え、定期的に悩みや話を聞く場を設けるようにする。 ● 保育準備や事務作業の時間を1か月に1人2・3時間程度取れるように調整し残業をなくしていくようにする。表を作るなど必ず可視化し平等にとれるように配慮する。 ● 有休や夏休を自己管理し、できるだけ好きな時に取れるように調整していく。
地域貢献	● まごのてあん・メルシーなどの高齢者施設に年に2回程度は訪問できるようにしていく。 ● マイ子育て広場に引き続き登録し、地域の子育て世代の方に利用してもらえるように発信していく。またインスタグラムやHP更新などで園の日々の保育を配信し園の特色やアピールポイントを伝えていく努力をする。 ● スマイルサポーターを主幹が兼ねているので、地域の相談窓口としてこっこびよびよなどの地域の活動に参加し子育て中の保護者に寄り添う。 ● AEDの設置および掲示

その他特記事項（施設整備関係）

【のばたけマミー保育園】

利用定員：

区分	3号認定			2号認定			合計
年齢	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	
定員	6名	7名	7名	—	—	—	20名
弾力化実員 (4/1 予定)	6名	8名	8名	—	—	—	22名

職員数：

種別	園長	主任保育士	保育士	看護師	栄養士	
常勤	1名	1名	7名	1名	2名	—
非常勤	—	—	4名	—	—	
合計	1名	1名	11名	1名	2名	

嘱託医：

種別	内科医	歯科医	眼科医	耳鼻咽喉科医	薬剤師	合計
嘱託	1名	1名	—	—	—	2名

第三者委員：安芸雅美、平川郁子

本年度重点的に取り組む目標・計画

- 安心安全な保育環境を整え、人権を大切にした教育・保育を実践する。
- 防災と安全対策を見直し、地域との連携を深めていく。
- 行事の開催や取り組み方法、内容等を職員間で密に話し合い、検討しながら進めていく。
- 園評価の項目に沿って自己点検・自己評価を実施することにより、職員自らが客観的に自園を見る目を養う。改定された豊中市の教育保育環境ガイドラインの学び直しを職員全員で行って内容を共有し、日々の保育の振り返りや園の課題の洗い出しとその改善に取り組むとともに、日々の保育の質の向上の実践を目指すことを重点項目とする。
- インターネットを活用した保護者向けの情報を発信し、地域子育て家庭支援の充実と定着を図る。

目標・計画の具体的な項目と取り組み方法

項目	取組方法
保育内容	● 多様な子どもたちの育ちに配慮し、一人一人に応じたきめ細やかな保育に取り組む。 ● 愛着や信頼関係を基盤とした生活を保障する。 ● 多様な人や自然、もの、生き物との関わりなど、心が動く直接的な体験のできる環境をつくる。
職員処遇	● 保育ＩＣＴシステム（コドモン）の導入により、保育業務の書類 ● 作成時間が短縮されることでさらに仕事の効率向上につながり、 ● 職員同士の対話の時間やさらにゆとりをもった働き方につながるようにしていく。 ● 業務のチーム化を図り、個々の得意分野を活かしながら、相談しやすい環境を整えていく。 ● 職員のモチベーションの維持を図る。
地域貢献	● 月１回実施している地域子育て支援「マミマミ」の内容の充実や、散歩先の公園や秋祭り等で地域の親子との交流や遊びの場の提供を図る。 ● スマイルサポーター（４名在籍）による育児相談。 ● 赤ちゃんの駅（オムツ交換・授乳場所の提供）。 ● 異世代交流 地域の高齢者施設「アクティブライフ豊中」訪問。 ● 絵本の貸出し ● AED の設置および掲示。

その他特記事項（施設整備関係）